

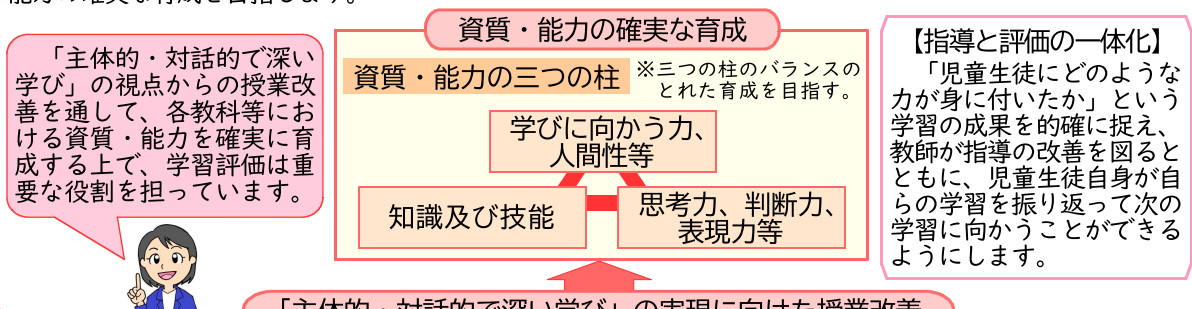
単元（題材）及び授業構想のポイント

令和7年度 授業改善のポイント

- 1 学習指導要領に基づいた児童生徒の資質・能力の育成に向けて、ICTを活用するなどして、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。
- 2 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価方法を工夫し、学習過程の適切な場面で評価を行うことで、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにする。

資質・能力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から学習活動の充実の方向性を改めて捉え直し、ICTを指導に生かしながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげ、児童生徒の資質・能力の確実な育成を目指します。



「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

〈児童生徒を主語とした授業改善の視点〉

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
○学ぶことに興味や関心をもつ ○自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる	○子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める	○知識を相互に関連付けてより深く理解することに向かっている ○情報を精査して考えを形成することに向かっている ○問題を見いだして解決策を考えることに向かっている ○思いや考えを基に創造することに向かっている

「深い学び」の鍵 🗝️ 「見方・考え方」を働かせる

「見方・考え方」を習得・活用・探究という学びの過程の中で働かせることを通じて、より質の高い「深い学び」につなげることが重要です。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

